

# 事務事業名 県営湛水防除促進事業

政策:03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策:01 農林水産業の振興

基本事業:06 農業基盤整備の推進

部名:経済環境部

課名:農林水産課

計画年度	平成10年度 ~ 平成24年度		事業区分	継続	会計区分	普通会計	
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
小松地区県営湛水防除事業促進協議会			平成21年度活動実績 総会、役員会 負担金 200千円				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）							
小松地区の県営湛水防除事業（小規模）が迅速且つ円滑に推進される。							
4 活動指標・成果指標・事業費の推移							
区分	指標名称		単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値
活動指標	負担金支出額		千円	200	200	200	-
活動指標							
成果指標	県営湛水防除事業（小規模）小松地区の進捗率		%	56.0	69.0	82.9	-
成果指標							
事業費			千円	200	200	200	
			うち一般財源	千円	200	200	200
5 目的妥当性							
法定受託事業である（根拠法令） 妥当である 妥当性が低い			県営湛水防除事業（小規模）小松地区の早期完成のためには県へ要望を働きかける機関の促進協議会は必要。				
6 上位の基本事業への貢献度							
貢献度大きい（理由） 貢献度ふつう（理由） 貢献度小さい（理由） 基礎的事務事業			農地被害が減少することにより生産性が向上し、生活安定が図れるため、少しでも早く完成させるための必要性は大きい。当該建設事業のソフト事業に当たるため、基本事業への貢献度としては普通と考える。				
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討							
対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる 対象や意図の見直しはできない その他			地区が限定されているため、対象意図の変更はできない。				
8 有効性（成果状況）							
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない			事業完了に向けて順調に機能している。				
9 有効性（成果向上余地）							
成果向上余地・大 成果向上余地・中 成果向上余地・小・無し							
10 事業の再編成							
類似の事業があり、再編成できる 類似の事業はあるが、再編成できない 類似の事業はない			対象エリアが定まっている関係上、再編はできない。				
11 効率性（コスト削減の方法）							
ある ない			活動内容を精査し、コスト削減を図る。				